



勝山市広報

12月20日 No.113

酒のんだら
ハンドル持つな
とびだすな
車のあとにまた車
スピードじまんは
一家の悲劇

発行人 梶井勝山市長
編集人 勝山市役所
印刷所 山内印刷

除雪

平地に初雪……雪害に備えましょう

しわすに入つて二日朝、とうとう平地に初雪が降り、いよいよ本格的な冬を迎えました。

昨年の平地の初雪は十一月二十七日でしたので、それよりは五日遅いわけですが、その量は昨年よりは多かつたようです。冬になりますと、勝山では雪とのたたかいが始まります。雪の量が多いか、少いか、それはわかりません。長期予報では平年並みか、やゝ多めとのことですが、やはり私たちは、雪に対する備えを怠つてはなりません。

市では、昨年と同じように「勝山市雪害対策要綱」をきめ、雪に備えています。

市民のみなさんも雪に対する万全の対策をたてられるようお願いするとともに、希望に輝やく良き新年をお迎えになりますよう心からお祈りいたします。

(初雪におおわれた家々の屋根 11月27日 市役所屋上より写す)

新議長に田中奥兵衛氏

全会一致で選ばれる 副議長には島田実氏

臨時市議会は、さる十二月四日午前十一時から、会期一日間で開かれましたが、この臨時市会が松井伏兵衛議長、小林清栄副議長が辞任されましたので、議案審議に先立って直ちに議長、副議長の選挙が行なわれ、全会一致で新しく議長に田中奥兵衛氏、副議長に島田実氏が当選、それぞれ就任のあいさつがありました。



田中奥兵衛氏

新しくできた市営住宅の敷地がきまりました

さる十一月末、村岡町郡と下高島にできました市営住宅の家賃は第一種が月額三千五百円、第二種が月額三千円、日雇労働者用が月額千円にきまり、十二月一日から適用されます。

市中中小企業者に対する年末資金融資額を増額し、貸付期間が長くなりました

このあと、本臨時市会に提案された勝山市営住宅設置および管理条例の一部改正など二件を審議し原案どおり可決して、午後三時五十分閉会しました。

なお十二月定例会市議会は十二月十七日から会期六日間で開かれました。くわしいことは次号でお知らせします。

田中奥兵衛議長 略歴

北谷町木根橋 六十七才 元北谷村長、市会議員三回当選、副議長をつとめる

現在 勝山農業共済組合長、北谷農協長、北谷小中学校PTA会長、勝山市森林組合副組合長

島田 実副議長 略歴

荒土町布市 七十三才 市会議員二回当選

現在 勝山市遺族連合会副会長



現在 勝山市遺族連合会副会長

それを年末資金として貸し出してありますが、こんどその借入金額を五百万円ふやして二千万円とし、貸付期間も一カ月延長して四カ月間とすることになりました。くわしいことは借用金庫におき、あわせの上せいぜいご利用ください。

総務委員会

委員長 河合 捨治

副委員長 石倉 清治

委員 石田己代治、田中奥兵衛、山岸吉太郎、松井伏兵衛、松山一男、松山吉一

建設委員会

委員長 笠羽九郎右衛門

副委員長 西出 敏

委員 林文右衛門、横沢武彦、上杉博、前川侯吉、掃山

長右衛門 産業経済委員会

委員長 水上 城治

副委員長 柳内 茂雄

委員 池内敏雄、四谷与一、竹内徳太夫、小林清栄、島田実

教育民生委員会

委員長 水上 善一

副委員長 中村 末吉

委員 裕庄八、高須基七、多田芳枝、山内宮栄、松原繁、小林広

職金運営委員会

委員長 山岸吉太郎

委員 石田己代治、石倉清一

治、林文右衛門、四谷与一、山内宮栄、松山一男

勝山市農業協同組合

来春二月に新発足 各農協が合併を決議

かねてから市が農協施策の二大支柱の一つとしてとりあげてきました「農協の合併」は、さる十二月六日、市内各単位農協ごとに一せいに開かれました臨時総会で、それぞれ合併が決議されました。ただ鹿谷農協は継続審議となり、十二月十日合併が決議され、これで九農協合併が正式にきまりました。

一本化した大型農協が誕生することになったわけです。こんどの臨時総会には各農協毎に全組合員が参加して開かれ、市からは山内市長、林農林議長ほか各課長がそれぞれの会場に出席しましたが、各会場では

1. 合併の可否

2. 合併予備契約書の承認

3. 合併経営計画書の承認

4. 設立委員会規程の承認

5. 設立委員の選任

あと、経営計画書なども原案どおり承認され、各農協から三名づつ合計二十七人の設立委員が別掲のとおり選任されました。これからは、この設立委員の方によって

(1) 新組合の定款や規程の作成
(2) 新組合の役員選任

など合併に必要な準備が進められ来年一月中旬に合併認可申請書を県知事あてに提出しその設立認可を得て二月一日新組合としての事業を開始することになるわけです。

いま、ここに各農協ごとに合併が決議され、いよいよ九つの農協が一本化し、「勝山市農業協同組合」として生まれかわるための第一歩が力強く踏み出されたわけですが、さる十月から北郷町で

始められた「農業構造改善事業」の突進とともに市全体の農業近代化への歩みは、着々と進められています。

勝山市農業協同組合設立委員

掃山長右衛門 久保正治

平泉寺農協同組合 永井六右衛門 手塚正直 松田忠雄

村岡農協同組合 竹内徳太夫 川原一男 木下伝右衛門

北谷農協同組合 田中奥兵衛 小林与助 山平与吉

野向農協同組合 水上喜平 下川利栄 滝本孝之

荒土農協同組合 水上静六 木透 丹後担詳

北郷農協同組合 津田彦右衛門 近藤平右衛門 石川賢一

鹿谷農協同組合 淵上利則 前川侯吉 岩見義雄

延羽農協同組合 水木源 島田

首左衛門 酒井利雄

市民生活安定のため

雪害対策要綱 さまよう

交通確保に重点

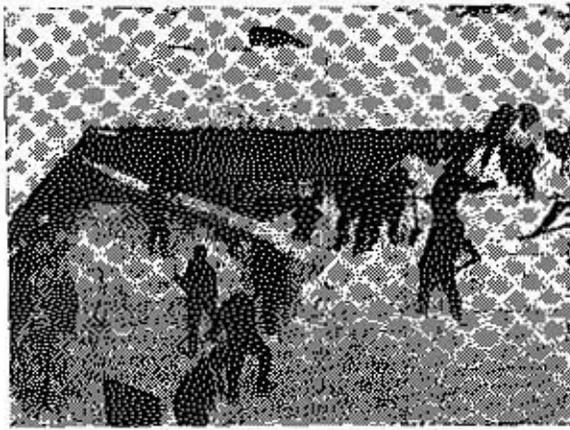
15〜20センチで除雪はじめる

一昨年の豪雪にひきかえ、昨年は四年ぶりに雪のないお正月を迎え、市内各スキー場では予約客の

ことしの雪は

平年並みか やや多め

福井地方気象台の長期予報では「ことしの雪は平年並みか、やや多め。年末、年始には雪が降るでしょう。一月下旬にもまた雪は降るだろうが、まず大雪の心配はないでしょう。しかし昨年のような暖冬でもない」とのことです。昨年豪雪のあとでもあり、積



38.1豪雪のとき雪とたたかう市民

雪を前に関係機関の協力を得て、綿密な雪害対策をたてましたが、自然のいたずらとでもいうのでしようか、暖冬異変で、その対策を活用するまでもなく、春を迎えることができたのでした。しかし、北陸地方は日本でも指折りの多雪地域といわれており、三八・一豪雪のようなことはないにしても、いつ大雪になるかもわかりません。市ではことしも雪の季節を前にして、去る十二月日市役所に市議会はじめ、土木出張所、保健所、消防署、食糧事務所など関係機関や区長連合会の代表の方々にお集りいただき「勝山市雪害対策要綱」をきめました。要綱は、除雪対策をはじめ、市民のみなさんの生活と直接関係の深い食糧物資対策や医療衛生対策、それに文教、消防対策に、雪害対策本部の体制など十

四項目にわたってごまかくきめられており、特に交通の確保に重点をおき、市民生活の安定をはかるために道路の除雪をまっ先に実施することになっていきます。別掲のように市としましては、雪に備えて万全の対策をたてていますが、こうした対策は市民のみ

なさんご理解とご協力があって始めて十分な成果をあげる事ができるのです。昨年の暖冬でありましただけにことしの本格的な冬を前に、あの苦しかった豪雪時の白魔とのたたかいの数々をもう一度思いかえしてみても、雪に備える対策の一

つでしよう。次に雪害対策要綱のうち、市民のみなさんに知っておいていただきたいことをおしらせしておきます。ご協力下さいますようお願いいたします。

勝山市雪害対策要綱(抄)

この要綱は十四項目にわかれています。そのなかから市民のみなさんに知っておいていただきたいことをおしらせします。

1 除雪対策

道路の除雪は、雪が15〜20センチになると始めます。また60センチをこえると民間機動力を動員します。市が除雪する主要幹線道路以外の除雪にはぜひご協力ください。ブルドーザーによる除雪をした道路には、なるべく履雪おろしをしないようにしてください。もし止むを得ずおろされたときは、交通のじやまにならないよう、すぐに処理してください。

流雪の時間は必ず守り、お互に迷惑をかけるないようにしてください。流雪区域および時間割表は別掲のとおりです。

2 建物保全対策

建造物の補強、補修は充分にしておいてください。

3 食糧物資対策

一般配給米や木炭、石油などの燃料は十分に確保されています。生鮮食料品の確保については、関係業者に協力を依頼してありますが、貯蔵できるものはあらかじめ購入しておいてください。

4 医療衛生対策

急患の場合は、市役所、消防署、警察署へご連絡ください。積雪期間中のゴミは、川にすてずにまとめておいてください。し尿のくみ取りは積雪前においてください。

5 文教対策

校舎などの除雪にぜひご協力ください。児童、生徒の登校、下校には十分注意するよう指導してください。また冬期間の健康には特に注意してください。

6 消防対策

各地区の消火栓の除雪は完全においください。火気の取扱いに十分注意し、夜ねる前にも一度必ず火の始末をしてください。火災発生ときは、すぐ一一九番へ連絡してください。

7 交通対策

雪道での安全運転にご協力くださるとともに、次の事項を守ってください。

- (1) 自動車には必ず滑りどめのチェーンかスノータイヤ(全車輪)をつけること。
- (2) 降雪の際は歩行者も運転者も見通しがかなくなるので充分注意すること。
- (3) 道路上でのスキーやスケートはしないこと。またさせないこと。

8 農林対策

越冬農作物や森林の保全については、農業改良普及所、各農協、森林組合などと協議して適切な指導をします。

9 労務対策

もし非常の事態が発生しましたら、必要に応じて、地区のみなさんご協力をお願いします。

流雪による除雪区域並びに時間割

積雪30cm以下の場合

水路名	区 域 別	時 間
第一号水路	正等寺角 ~ 石橋魚店迄 迄石橋魚店 ~ 立石山田菓子店迄	午後 前後
第二号水路	上長瀬森呉服店 ~ 武藤医院迄 武藤医院 ~ 勝山農協迄	午後 前後
第三号水路	登記所前通り ~ 宮原 ~ 下川酒店前	午 後
第四号水路	下川酒店 ~ 市役所 ~ 大蓮寺川迄	午 前
第五号水路	白竜舎クリーニング店 ~ 小林眼科医迄 小林眼科医 ~ 竹内硝子店迄	午後 前後

積雪30cm以上屋根雪おろしたした場合

水路名	区 域 別	時 間
第一号水路	正等寺角 ~ 元長官舎迄	8.00 ~ 9.00
	菊の湯 ~ 横山書店迄	9.00 ~ 12.00
	横山書店 ~ 文化会館迄	12.00 ~ 15.00
	文化会館 ~ 立石山田菓子店迄	15.00 ~ 18.00
第二号水路	上長瀬森呉服店 ~ 玉木印刷店迄	8.00 ~ 9.00
	玉木印刷店 ~ スポーツガイド迄	9.00 ~ 12.00
	スポーツガイド ~ 山下魚店迄	12.00 ~ 15.00
	山下魚店 ~ 勝山農協迄	15.00 ~ 18.00
第三号水路	登記所前通り ~ 宮原精肉店迄	6.00 ~ 10.00
	宮原精肉店 ~ 矢戸米屋迄	10.00 ~ 14.00
	矢戸米屋 ~ 上流柳内耕機店後迄	14.00 ~ 18.00
第四号水路	大蓮寺川 ~ 鈴木理髪店迄	6.00 ~ 9.00
	鈴木理髪店 ~ 田村代善宅迄	9.00 ~ 12.00
	南部湯 ~ 松文第三工場迄	12.00 ~ 15.00
	松文第三工場 ~ 下川酒店迄	15.00 ~ 18.00
第五号水路	白竜舎クリーニング店 ~ 伊藤歯科医迄	6.00 ~ 10.00
	山川自転車店 ~ 駅前通り四ツ辻迄	10.00 ~ 14.00
	駅前通り ~ 竹内硝子店迄	14.00 ~ 18.00
第六号水路	国道滝川 ~ 鷺田金物店迄	6.00 ~ 10.00
	多田商店 ~ 村岡農協迄	10.00 ~ 14.00
	村岡農協 ~ 養倉	14.00 ~ 18.00

豪雪時に於いては、偶数日と奇数日とに分けて別途計画実施する。

(計画予定は、各水路ごとに偶数、奇数とに分ける)

10 ナダレ、孤立部落対策
ナダレ発生時の危険箇所を調査し、事前に災害防止の方途を講じます。奥地部落の雪害状況の把握にため、非常事態発生時はヘリコプターなどの出動を要請することになっていきます。

11 雪害対策本部体制
積雪が一メートル五〇センチをこえ、市役所内に災害の発生が予想される場合には市長を本部長とする雪害対策本部が設置されます。

12 その他の対策
(1) 屋根雪おろしの際、送電線や電話線にあたらぬよう注意してください。
(2) 切断した送電線や電話線がある場合には、直ちに北陸電力か電報電話局へご連絡ください。
(3) 停電事故をより早く復旧するために、電柱の傾斜や、電線の断線、その他異状を発見したら北陸電力へ速報して下さい。

さらに四社を追加

工場設置条例の適用

市では昨年十月から勝山市工場設置条例を制定して、市内産業の育成振興のためにいろいろな奨励措置をとることとし、さきに六社にその条例を適用しましたが、こんどさらに次の四社に対して適用することをきめました。

これで工場設置条例の適用を受ける会社は十社になったわけですが、さらに現在二社が適用の申請をしており、近く決定されることになっていきます。
このようにいま市内には数々の工場建設が着々と進められており市は大きく伸展を続けています。
◇条例の適用を受ける会社
(第二次)

寄せられた善意

(敬称略)

- ◇鳩の会 二千円◇
- 市内沢 中野晴夫 二百円◇
- 横倉小学校 長 船本克己 千円
- 五十円◇
- 市内下袋田 橋本嘉蔵 一万円◇
- 市内上袋田 坂野銀造 毛布十二枚◇
- 勝山類組組合員(十六名) 二千円◇
- 鳩の会 二千円◇
- 成器南小五の三 岡田千代子 市内上元禄 岡田薫 二百円◇
- 成器西小四の三 三好栄子 山岸緑 二百円◇
- 市内下元禄 米村玉治 五千円◇
- 成器西校児童会 一万円◇
- 松文寄宿舎日治会 三千二百三十円

北海道の冷害を救おう

暖かい寄付集まる

北海道の冷害地のみなさんかへてくださると、次のみなさんから暖かい寄付が寄せられました。
市ではさっそく日赤を通じて北海道へお送りしました。

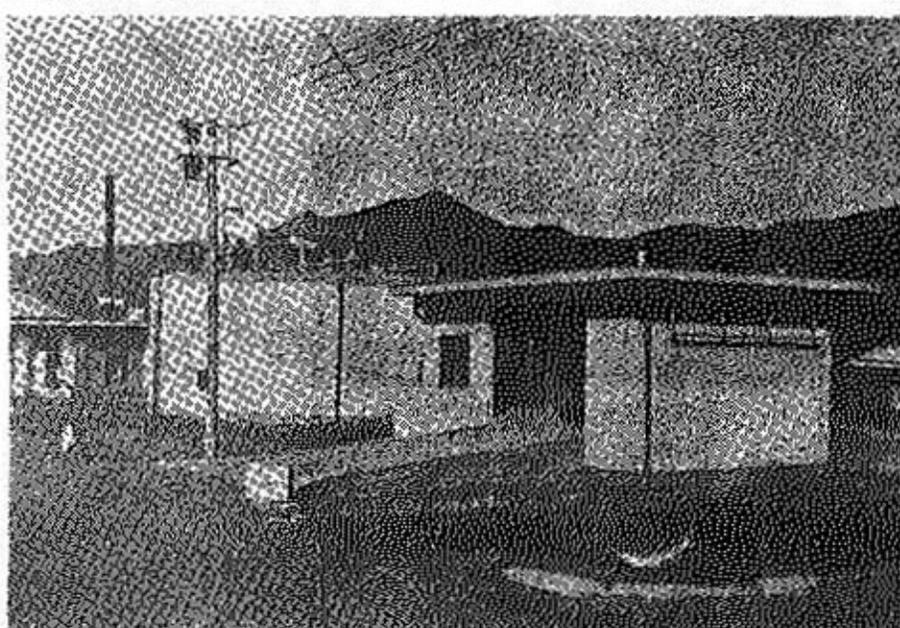
- ◇ホーイスマット 勝山第二団少年隊(雲龍艦空隊長、隊員四十五名) 一万三千五百円◇
- 成器西小学校 四年五組 原隆雄ほか十一名 九百円◇
- 市内下元禄 船本克己 千円◇
- 成器南小学校 五年一組 児童 八十五円◇
- 成器西小学校 児童会 一万円◇
- 猪野口区 九百円◇
- 高島区 一千七百七十円◇
- 松文寄宿舎自治会 四千円◇
- 下長瀬 五千六百三十円◇
- 上元禄 二、四、五、四千二百九十円◇
- 若猪野 八百四十円◇
- 上元禄 四千八百二十円◇
- 下元禄 二、四、千六百二十円◇

市福祉事務所では、年末を控えてこれらの方々に楽しんでお正月を過ごしていただくために、これまで寄せられた善意の金品を、歳末たすけあい運動として、この二十日から配分しました。
これまで暖かい善意をお寄せいただきましてありがとうございました。本当にありがとうございます。

十二月一日から操業開始 待望の衛生処理場 完成

昨年八月から村岡町瑞波高島地籍で建設が進められてきました勝山市衛生処理場は、このほど完成し、さる十一月十九日落成式が行なわれ、十二月一日からその操業を始めました。

この処理場は伝染病の発生や、寄生虫のひろがるのを防ぎ、し尿や汚物を衛生的に処理し、住みよい美しい町の実現をめざして、五



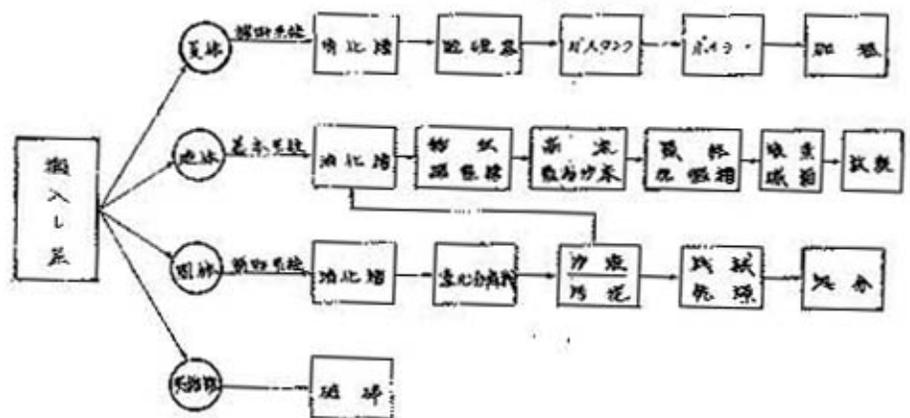
完成した衛生処理場

し尿が処理される順序を説明します。すとの過程を簡明に説明しよう。業者によつて各家庭や学校、工場などから汲みとられて衛生処理場に運びこまれたし尿は、まず沈砂池で

千万円の巨費を投じて建設されたもので、一日二十七キロリットル(約一五〇石、二七〇〇人分)のし尿を衛生的に、まったく害のない様に処理する能力があります。施設としては、し尿を処理するための投入槽、調整槽、ガスタンクなどのほかに電気操作室や管理事務所があり、場長ほか二名の職員が配置され業務にたずさわっています。

石などの重いものを取り除いて投入槽に入れられます。投入槽の中では、布や固形物などいろいろなまじりもの(夾雑物)はカッター(切断機)で細かく切りくずされるとともに、脱臭装置でくさいにおいを取り除きながら消化槽へ送りこまれます。消化槽では温水ボイラーで摄氏三十度から三十五度の温度をたもちながら、三十日間いやなにおいを消すための消化作用が続けられます。そしてその消化作用が終了す

し尿消化処理系統説明図



と、次の希釈調整装置で四十倍に薄められながら最終沈殿槽に送りこまれて浮遊物を沈澱し、最後に塩素水によって完全滅菌されたあと、九頭龍川に放流されるわけのです。

されず。このように汲みとられたし尿は完全な機械設備によって衛生的に処理されるわけです。さらに上水道事業も完成しました本市に、いままだ近代的な衛生処理場ができませんでしたことは、住みよいまち、美しいまち、衛生的なまちづくりをめざしている勝山市の躍進する姿といえましょう。

郷土文化の向上めざし 勝山市文化協議会設立

ながい間、市内の文化団体関係のみならず、その設立がのぞまれていました「勝山市文化協議会」がこんど新しく誕生しました。

これまで市内には香道、絵画をはじめ、俳句、川柳、謡曲、琴、尺八、写真、園芸、茶道、華道、雅楽などいろいろな文化関係団体があつて、愛好者の方達によつてそれぞれの活動が続けられてきました。しかし、展覧会や観賞会、発表会など、その活動は個々に行われてきましたので、これからはそれらの各団体、グループの連絡を密接にしなが郷土文化や芸能の保存向上を通じて文化度の高い勝山市の実現に努力するためにこの協議会が設立されたわけです。さる十一月二十三日正午から成器西小学校で開かれました設立総会では、次のみなさんが役

- 員に選ばれ、規約、予算、事業計画のほかに、市民がいつでも自由に利用できる文化の殿堂として、市民センター(仮称)の早期建設を市に要望することをきめました。
- ◇勝山市文化協議会役員
- 顧問 山内 滋 白木ナツ
 - 幹事 丸 亮 山岸伊之助
 - 参与 林文右衛門 多田芳枝
 - 松村 烈堂 宇野 博
 - 丸屋 説三 牧野 義一
 - 松田 昭 毛利 素直
 - 委員長 松村寛治
 - 副委員長 深谷外夫 大六繁二
 - 藤間正子
 - 常任委員 梅田清道 山内仁録
 - 藤田麻久俤 野坂 敬四
 - 中村 一郎 松村正兵衛
 - 但川 初男 白木 龍治
 - 竹下外來男 遠理美代子
 - 寺本 誓林
 - 監査委員 土谷善兵衛 船木正一

新しい村づくり

豊かな農家生活——確立のため



起工式で挨拶する山内市長

りこんだ「実施計画」ができあがりました。

そしてこの八月、県から実施計画の認定があつて、九月十六日事業の実施主体である「北郷土地改良区」(理事長笠羽清右衛門、組合員二四〇名)が発足し、さる十月始めから北郷町東野地籍で改善事業に着手しました。

こんど始められたこの改善事業は、総経費一億二千二百万円の巨費を投じて、ことしから三カ年計画で区画整理を主体とした土地基盤整備(総面積約百ヘクタール)と、トラクターやコンバイン(刈取脱穀機)の購入、もみ乾燥施設の建設などの農業経営施設の近代化が行なわれるわけです。

市農林課が作った実施計画書により、昭和三十九年度は土地基盤整備事業として、四千百余万円の経費で、約三十四ヘクタールにわたる区画整理が行なわれることになっていきます。

こうした改善事業が終了するとこれまで小さい区画であった水田も面積が大きくなり、あぜ道、道路をはじめ用水路や排水路も整備される一方、新しい農業機械を取り入れることによって農作業が能

率的に行なわれ、少い労力で農民一人あたりの収入が多くなるという、豊かな農家生活の実現が期待されます。

市としては、市内初のモデル地区として、ことしから北郷町で農業構造改善事業を始めたわけですが、これからのこの事業が成功するよう最大の努力をほらい、農業の近代化をはかる計画をもっています。

こんにち、農業に従事するものとの他の産業に従事するものとの所得の差はだんだん大きくなり、農業に従事する人も年々減ってきているのが実情です。

この問題を解決し、農家生活を豊かなものにするためには、農業のやり方を改善し、その生産性を向上させなければなりません。農民の一日の農作業の量を少しでも少くし、その所得をより多くすることにも、余った労力を有効につ

かうようにすることが、これからの農業の進むべき道でしょう。「農業の近代化」は国の大きな施策ですが、その核にそつて北郷町で始められましたこの農業構造改善事業が、市農業近代化のモデルとして、立派に完成しますよう市民のみならずとも期待するものです。

百年無火災運動を推進

——鹿谷町自治防火協会発足——

さる十二月一日、鹿谷町の区長

会、婦人会、青年団および各区の消防自治会が主催者となつて、六二六世帯全部を会員とする鹿谷町自治防火協会が発足しました。

これは、これまでの火災統計により、三十八年に二件づつ発生し、七、三十八年に二件づつ発生し、ことしは十一月末までに市内火災発生総数三十三件(うち市街地では十二件)のうち四件が鹿谷町でおきており、この三年間に五軒が焼失したため、何とかして町民の防火思想と防火知識を高めて、自分たちの町からは火災を出さないようにしようということから、つくられたものです。

これからの運動としては、毎月一日を防火デーと定めて、百年無火災運動を強力におし進めるとともに、市消防署と連絡をとつて各家庭の防火診断を実施することに

年賀状は22日まで

年賀状はおし迫つてから出しますと元旦の配達に間に合わないこともあります。

- 次のことにご協力ください
- 1.あて名は正確に書く。
- 2.市内、県内、県外に分ける。
- 3.お年玉つき年賀はがき以外の年賀状には、一通ごとに「年賀」と赤で書く。

なっています。

そして各家庭には「百年無火災運動地区の家」と赤字で書いたビラを配布する一方、公民館前には標柱をたて、また町内三カ所に横断幕をはって常時啓発につとめることになっていきます。

市消防署では秋の火災予防週間の重点目標として自主的な防火体制の確立をよびかけており、旧町をはじめ北谷町でも自治防火組織の結成準備が進められています。

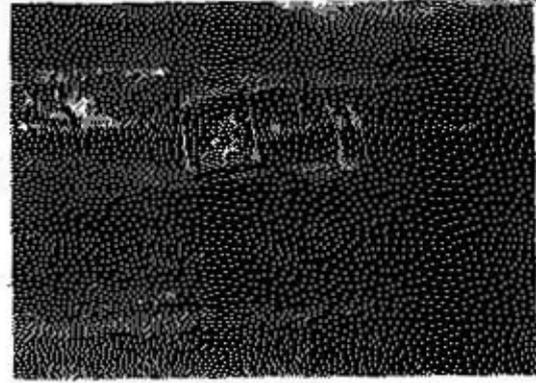
この鹿谷町での防火協会の発足を契機として、市内全域にこうした組織ができあがるのが期待されます。

なお、鹿谷町自治防火協会の役員は次のとおりです。

- ◇会長 山口瑞吾(本郷)
- ◇副会長 伊藤 武(保田)

- 島田 弘(北西俣)
- 伊藤文子(西瀬羽口)

着々進められている土地基盤整備事業



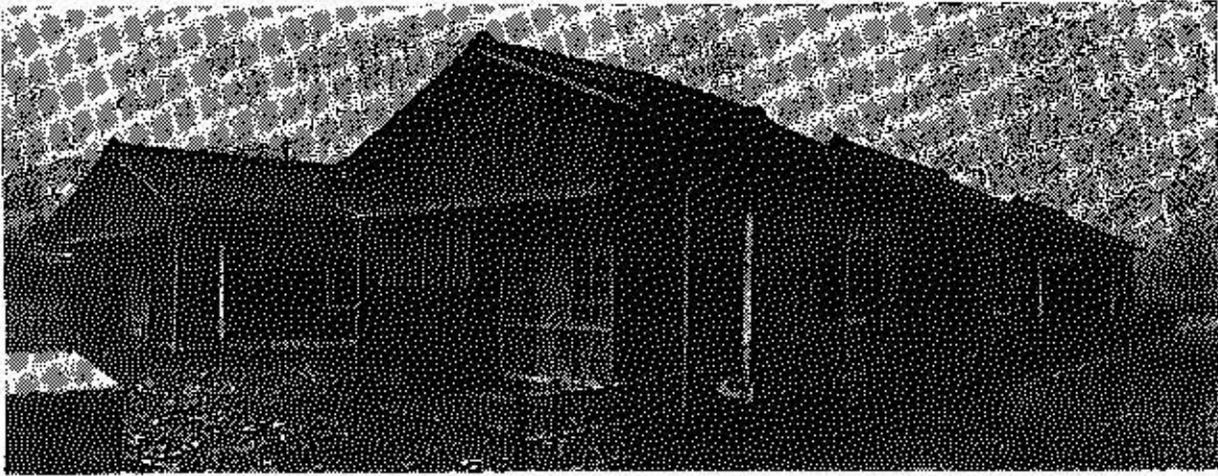
いま全国各地の農村では、新しい村づくりがどんどん進められています。「農業構造改善事業」がそれで、これまでのくわやかまによる人力本位の農業を、新らしい機械力や設備を取り入れた近代的な農業にきりかえるのがそのねらいです。

本市でも同様にして農業構造改善事業の実施をきめ、昨春秋その計画地域の指定を受けてからは事業を最も効果のあるものにするため、実地調査や測量をはじめ、構造改善の考え方を押し進めるための問題点の検討を続け、ようやくことしの春、関係者の意見をもち

昨年より引続いて建設

村岡町郡と下高島

市営住宅 完成



下高島に完成した市営住宅

十月始めから市内村岡町郡と下高島で建設工事が進められてきました本年度市営住宅は、このほど完成し、さる十一月三十一日市役所で公開抽せん会が開かれ、次の皆さんが入居者とまじりました。

こんど完成した市営住宅は村岡町郡に第一種八戸と第二種二戸の十戸、下高島に第二種六戸と日雇労働者用四戸の十戸、合計二十戸です。

入居申込は十一月十日に締められました。その数は第一種住宅に十五名、第二種住宅に十三名、日雇労働者用住宅に五名と、それぞれ住宅数をこえたので、市福祉事務所では申込者個人別に実態調査をしますとともに市営住宅入居者選考委員会を開いて協議しました結果、公開抽せんによって入居者をきめる

国体のちしき (7)

第23回国体福井県準備委員会が発足しましたが、それに伴い、定内したる12月1日これまでの招致準備委員会が本格的な準備委員会として正式に発足しました。

この委員会は北知事が会長となり、構成人員は県下各界、各層を網羅して711人の多きものほつており、16の専門部を設けることになっていますが、とりあえず、総務、財務、資金、施設、式典、競技、広報、県民運動の8部だけで発足しました。

本市にもさる5月6日、勝山市招致準備委員会が結成されていますが、県と歩調を合わせ、施設の充実、選手、審判員の養成、強化など総合的な受入準備を推進する委員会をつくる予定です。

ことになったものです。これで昨年度の東南団地(毛屋)二十戸と合わせて四十戸の市営住宅が建設されたわけですが、このほかにも本年十月には村岡町三谷に労働金庫の建売分譲住宅十戸が完成しており、また来年三月までには、下高島の市営住宅に隣接して県営住宅十戸も完成することになっていきます。

市としては、これからも市民生活の根拠となる住宅問題を重点施策として、市民生活の向上をはかる計画であります。

- 市営住宅入居者 村岡町郡
 - 第一種 上元禄 桑幸子 村岡
 - 佐藤武義 上元禄 笠川
 - 鹿谷西理 羽口 黒柳久男
 - 美竹内実 下毛屋 佐々木信
 - 下田 松田博 沢 水野弘
 - 富田 柳原まさ 小沢幸子
 - 第二種 村岡町郡
- 下高島
 - 第二種 上元禄 奥守美敏 上
 - 松井作栄 立石 堂前三信
 - 後松井 今井三夫 下元禄
 - 村岡町郡 上元禄 西川正彦
 - 藤堂春信 上元禄 西川正彦
 - 日雇労働者用住宅 富田 繪木
 - イト村岡町 上井正太郎
 - 若猪野 田中はなゑ 荒土町 堀名
 - 石井宮子

昭和四十年度に成人になられる方達から、次の要領で「成人の主張」の論文を募集します。ふるって応募してください。

◇「成人の主張」論文募集要領

- 主催 勝山市教育委員会
- 後援 中部日本新聞社
- 応募資格 昭和二十年一月一日から十二月三十一日までに生まれた方で市内在住のもの
- 応募の方法

『成人の主張』論文募集 しめ切りは 二月二十日

- 課題 新しく成人になるものの主張(よろこび、覚悟希望など)
- 字数・用紙 四〇〇字詰原稿用紙三枚以上五枚以内。原稿には、住所、氏名、職業をはっきり書いた紙を添えること。
- 提出期限 昭和四十二年二月二十日(土)まで
- 提出先 勝山市教育委員

郷土勝山市を、そして私達の町をより住みよく、より発展させるにはどうしたら良いか。をテーマにして次の要領で「町をよくする」意見を募集します。ふるって投稿してください。

◇「町をよくする」意見募集要領

- 主催 勝山壮年会連合会 勝山公民館
- 応募方法
 - 内容は自由です。建設的で人の心を奮起させるような事柄であればなお結構です。
 - 字数、用紙に制限はありません。
- しめ切りは 一月三十一日
- 面に配付し、それぞれの資料にしていただきます。
- 文字の書けない人や書くひまのない方は、お聞かせくだされば文章にしてパンフレットにのせますから、勝山公民館までご連絡ください。

社会教育課宛(勝山市役所内)

- 主張の書き方 次のことに注意してください。
- 何を主張するか、ポイントをきめること。
- ポイントがきまったら自分の考えを自由に書くこと。
- 内容は具体的、建設的であるようにすること。
- 新成人らしい意欲と情熱

に満ちたものにする。審査の方法 論文の審査は市内学識経験者を審査員に委嘱して行ない、最優秀、優秀、佳作をきめる

7.表彰 入賞者の表彰は成人式(昭和四十二年三月二十一日)で行います。入賞者には賞状と賞品を贈り、最優秀作品は成人式当日朗読していただきます。なお広報で発表します。

ません。匿名でも結構ですがなるべく住所、氏名、年令、職業を書いてください。

(3) しめ切りは一月三十一日、宛先は勝山公民館へ

(4) 投稿された意見は、そのままパンフレットにして各

『町をよくする』意見募集 しめ切りは 一月三十一日

- 主催 勝山壮年会連合会 勝山公民館
- 応募方法
 - 内容は自由です。建設的で人の心を奮起させるような事柄であればなお結構です。
 - 字数、用紙に制限はありません。

新築住宅に対し 固定資産税を軽減 お忘れなく申告を



住宅の建設を促進するため、次の条件に該当する住宅について三年間、固定資産税が半分に減額されますので該当される方は昭和四十年一月一日までに市役所税務課へ申告してください。

1. 昭和三十八年二月一日以後に
申告用紙は税務課にあります。

新築された住宅。ただし増築、改築は除外されます。
2. 新築住宅の総床面積が八五平方メートル(二七・七一坪)以下であること。
なお、くわしいことは税務課第二課係へおたずねください。

市役所の年末執務は 二十八日までです

年末は十二月二十八日までで市役所事務が終りになります。ご用は早いうちにおねがいします。急を要することなどにつきましては日直者、宿直者にご連絡ください。



布やナワを
巻いてください
水道の
凍結防止

正月も近づき、寒さもますますきびしくなってきました。気温がさがりますと、水道管が破裂したり、給水せんが凍りついて水が出なくなったりすることが多くなります。こうした事故を防ぐには、次のようにしてください。

- (1) 給水管の地上に出ている部分を布やナワなどで堅く巻く
 - (2) 給水せんが凍りついたときは、ぬるま湯からだんだん熱い湯をかけること。
- もし事故が発生したら……すぐに市水道課または次の市指定の給水工事業者へご連絡ください。
- 市指定の給水工事業者
- 第一土木 ⑧〇二五八
 - 工業KK (上袋田) ⑧〇二五八
 - 米村鉄工所 (立石) ⑧〇八二七
 - 山本鉄工所 (下後) ⑧〇一七
 - 川島鉄工所 (立川) ⑧〇四〇一
 - 斎藤鉄工所 (上元) ⑧〇七四一
 - 平野鉄工所 (下長) ⑧〇七二二
 - 藤崎鉄工所 (上長) ⑧〇三五六
 - 北工業KK (上袋田) ⑧〇四三五
 - 大日建設 (下元) ⑧〇一四八甲
 - KK ⑧〇一四三
 - 勝山工機 (沢) ⑧〇一四三

ださい。
年始は五日から事務をはじめます。

年賀交歓会

とき 昭和四十年一月一日
午前十一時から
場所 勝山中学校
主催 勝山 市
勝山商工会議所
出席ご希望の方は、会費二百円を添えて、十二月二十五日までに市役所総務課、商工会議所または市内各公民館へお申込みください。新生活運動の一環として多数ご出席下さいますようお願いしております。

昭和39年工業統計調査に ご協力を

毎年行なわれています工業統計調査が、本年もこの十二月三十一日現在で実施されます。この調査は我が国製造業の実際の姿を理解することによって、その調査結果を生産活動のための資料として活用するために行なわれるものです。
調査票の提出期日は来年一月二十五日までとなっております。年が明けまして早々に調査員の方達が、この調査の対象となる事業所を訪ねて、いろいろ調査することになっておりますから、その際にはよろしくご協力ください。よろしくお願いいたします。

犯罪や事故をなくして 明るい年末年始を

ことしもまた残り少なくなってきました。一年の生活のしめくくりをする年末は、何となしにあわただしさを感じます。人々の心も落ち着かないようです。
そのため年末になりますと、犯罪が多く発生したりいろいろな事故も多くなります。また冬休みや休日のために、学生、生徒や勤労青少年に時間的ゆとりがで、悪い影響を受けて不良化したり、非行に陥ることも多くなります。
みんなの力で犯罪をなくし、青少年の非行防止に心をくばり、明るい楽しいお正月を過ごしたいものです。
勝山警察署、勝山市防犯

- 隊、勝山交通安全協会では年末、年始の防犯運動を展開していただきますので、市民のみなさんの御協力をお願いいたします。
- ◇ちよつとした留守にも錠をかけましょう。
- ◇夜寝る前に戸締りを確実にしなす。
- ◇歩行者も運転者もみんなが交通ルールを守り交通事故をなくしましょう。
- ◇どんな小さな暴力でもすぐ警察署へ届けましょう。
- ◇青少年の非行防止に心をくばり青少年を明るく正しく導きましょう。
- ◇事件や事故のときは、すぐに一一〇番(局番なし)へ知らせましょう。

農業統計調査にご協力を

市農林課では、こんど昭和四十年農業統計調査(一九六五年度中間農業センサス)を実施することになりました。この調査は、今後の国の農業施策の重要な資料とするため、全国的に五年ごとに行なわれるものです。近く市から委託しました調査員が各農家へおうかがいして過去一年間の農業経営の状況をおたずねすることになりますので、この調査の趣旨をご理解の上、ご協力下さいますようお願いいたします。

なお、この調査の対象となるのは、五アール(五畝)以上の経営者または農業収入が三万円以上ある農家です。

タバコは 市内で買いました

編集後記

ことしもまた年の暮になり、みなさんのための広報、読みやすい市報にしようとかんがりましたが、まだまだでした。来年こそはという気持ちです。どうぞよろしくお願ひします。

十一才を迎える郷土勝山市の発展を、市民のみなさんとともに祈ります。 係より